

ちよこし 知りくわな

取材で分かった意外と
知らない「ツウな情
報」を、お伝えします

くわな 鋳物の新たな挑戦

〇 広がれくわな 鋳物！

くわな 鋳物の魅力を改めて知ってもらうため、日用品からマンホール蓋などの工業製品まで含めたくわな 鋳物製品の展示会を行っています。また、会場内では初のくわな 鋳物製品を対象とした「いもコン」(くわな 鋳物コンテスト)も同時開催しています。2月5日まで開催していますので、ぜひお越しください。詳しくは、商工課(☎24-1256)までお問い合わせください。

体験くわな

👉 ケトルベルを体験しよう！

伊藤鋳造工所のすぐ隣にある、伊藤社長がトレーナーを勤めるパーソナルトレーニング



イラスト 市民編集員
櫻井 暁子

ムでは、ケトルベル購入者だけではなく、ケトルベルでトレーニングがしてみたいというビジターも、気軽にケトルベルレックスが受けられます。そして4〜48kgのすべての重量のケトルベルを体感できます。その他にも、鋳物で作られたブロックウエイトなど、鋳物の重みを生かした器具がそろっています。正しい使い方を学んで、熟練された鋳物魂が込められた日本唯一の国産ケトルベルで、体を鍛えてみてはいかが。



市長がふれる！

本物力

No.02

くわな 鋳物の 新たな挑戦



今月の特集は「くわな 鋳物の新たな挑戦」です。

今回は城南地区にある伊藤鋳造工所におじゃまして、伊藤 允一(いとう ますかづ)社長に鋳物づくりについてお話を伺いました。

皆さん、ケトルベルってご存知でしたか。ロシア発のトレーニング器具で、大きな鉄の球体に取り手がついている形状がやかん(ケトル)に似ているため、このように呼ばれているようです。

伊藤さんは社長として自社の将来を考え、鋳物の重さを活かした新製品を、と考えていた時に出会ったのが、このケトルベルでした。



トレーニングの1つスイングを体験

感動したのは、伊藤さんのケトルベルに徹底的にこだわる姿勢です。自らケトルベルのトレーニング方法を学び、それを伝えるべく、鋳物工場の隣にケトルベル専用のトレーニングジム「HARD STYLE GYM」をオープン。社長自らが、ケトルベルのトレーニングを指導しています。伊藤さんは、今でこそ筋肉ムキムキの体ですが、ケトルベルに出会うまでは運動が嫌いだったと笑います。ケトルベルに出会って自らの身体も変化させたというわけです。どうりで説得力があります。

私も、ジムで「スイング」というトレーニングを体験させてもらいました。肩幅ぐらいに両足を開き、両手で12kgのケトルベルをもち、背筋を伸ばした状態でお尻をつきだすように膝を曲げます。その状態からケトルベルを振り子のように振り、肩の高さぐらいまで

持ち上げるのです。はじめは重いと怖いダブルでへっぴり腰になってしまい、うまく持ち上げられません。伊藤さん指導のもと、全身を使ってスイングすると、なんとか持ち上げることができました。翌日は、想像通り全身筋肉痛に。

ケトルベルを購入された人は無料でトレーニング方法を教えてもらうことができますので、皆さんもケトルベルを使って全身を鍛えてみてはいかがでしょうか。

お話を伺う中で伊藤さんは「昔は桑名と埼玉県川口市が国内2大鋳物産地でしたが、近頃は海外との競争や後継者不足で生産が減少している中で、このケトルベルで桑名の鋳物業界を元気にしていきたい」と意気込みを語ってくれました。

こうした思いが、桑名の本物力を一歩先に進める原動力になっているんですね。